

年代や性別を超えて集客を試みる未来型・次世代型の新サービス

エステティックサロンの新たな形、 注目の『独立型インナービューティースクール』

エステティックサロンで販売している製品とその知識を単独のビジネスとして立ち上げた新形態のサロンが誕生した。一般社団法人 日本酵素・水素医療美容学会ライセンス校として初となるスクール兼ショールームという仕組みだ。4人に1人が高齢者という超高齢社会における健康ビジネスは今後さらに注目を集める。今回は、同日行われたレセプションパーティーの様々と、大島氏がスクールを立ち上げた背景に迫る。(取材:エステティック通信編集部)

店販が苦手だった大島さんが ライセンス校取得のきっかけとは

株式会社ミウ代表取締役 大島裕見子氏は、埼玉県加須市にエステティックサロンを持ち、サロンワークもこなすオーナー兼エステティシャンだ。今回のスクール兼ショールームのオープンで、2店舗を運営することとなった。なぜエステティックサロンとは独立したライセンス校にこだわったのか。

「約2年前からサロンのメニューとして、酵素ドリンクを利用したファスティングを取り入れています。私はそれまで、店販が得意ではなかったのですが……自分で酵素ドリンクや水素水を飲用するうちに、健康効果を実感するようになりました。その効果をお客様にお話しするうちに、自然と皆さんに購入していただけるようになったのです。そうか、よい製品は売ろう



と思わなくても売れるんだと驚きました。こんなに興味をもつていただけなのであれば、その効果を多くのかたに知ってほしい。社会の高齢化が進んでも、健康なかが増えて欲しい、地域に貢献したいと思いはじめたことがライセンス取得のきっかけになりました」

また、「一番身近にいる家族の変化も大きく影響したという。

「はじめ、主人に酵素ドリンクを勧めても一切、受けつけませんでした。ですが、酵素ファスティングで

8キロ痩せ、年に何度も風邪をひくほど体調が悪かった主人が、それから風邪を引かなくなりました。10年前よりも健康になった！と今では資格取得を目指すほどにまでなりました」

インナービューティースクールで 新たなサロンビジネスの可能性

株式会社ミウのスクールには、サロンに通うお客様のみなさん、口コミでその健康効果に興味を持ったかたが足を運ぶ。具体的な講義内容は、酵素ファスティングや水素



大島 裕見子氏
株式会社ミウ 代表取締役
一般社団法人 日本酵素・水素医療美容学会 理事 / 公認プロフェッショナル
インストラクター / 公認ファスティングカウンセラー / ファスティングマイスターエキスパート



▲当日は、たくさんのお客様が来場。20代から60代まで幅広い年代での交流会となった。ざらりとならんだお料理は、体に優しい食育メニュー。熱心な生徒さんからのアイデア

年齢を重ねても働くことができる 今後のエステティックサロン

エステティシャンがサロンを退職する理由のついで、自身の体力の問題がある。特に、ハードな痩身技術には力も必要で、無理な体勢を取るため、腰痛になるかたも少なくない。一般に向けたスクール事業が発展すれば、エステティックサロンから派生した新たなビジネスモデルが見えてくる。食育・ウェルネススクールの併設という同社のスタイルは、エステティシャンが年を重ねても働くことのできる一つの形として今後注目を集めるのではないだろうか。

大島さんは「今後、小物デコレーションなど女性が好きそうなID A Y レッスンと組み合わせるなど、気軽にスクールに来ていただく環境を整えたい。地域の方全員に健康になつてほしい」と今後の意気込みを語った。



▲ショールームスペースには商品がずらりと並ぶ。じっくり手にとって見ることができる

●取材協力
株式会社ミウ
埼玉県加須市花崎1-21-9
TEL. 0120-11-9028 (フリーダイヤル)
0480-31-9028
FAX. 0480-31-9164

●お問い合わせ
株式会社エステプロラボ
営業企画部研修課
TEL. 0120-911-854